

授業科目名	介護福祉の基礎理論			担当者	松原 浩一郎		
配当学科・研究科	社会福祉			NO.	HS-SW-2-501		
必修・選択	選択	単位数	2.0	時間数	30	授業形態	講義
年次	2			履修期	2017年度 秋学期		
テーマと到達目標	介護福祉の分野で必要な知識と技術及び倫理を理解することを目標にする。より具体的には以下の通りである。 ①多様なサービスの理解～介護保険制度の理解を深める ②在宅介護や施設介護において必要な知識や技術や倫理について理解を深める。 ③介護に必要なコミュニケーション技法について理解を深めて、実際にロールプレイを行い、その技術を活用出来るようになる。特に共感や傾聴、受容的態度について身につける。また、チームで実践することの意義とその実態を理解する。 ④障害についての理解を深めて、障害者本人およびそれを取り巻く家族や地域のついで学ぶ。 ⑤施設見学を通して、施設の実態を理解して、利用者の実態を体験的に学ぶ。 以上のような学修を通して、高齢者や障害者の実態を説明出来るようになり、くわえてそれらの当事者を取り巻く家族や地域及び施設の実態を述べること、それらの課題を明確に説明出来るようになることを到達目標にする。						
概要	高齢者や障害者の理解については、主にテキストをもちいて、講義形式で学びを深める。コミュにケーション能力の習得については、講義形式で学んだ後、ロールプレイを通して、実施に実践して体験的に学びを深める。さらに、福祉施設の現状を理解するため、実際に見学に行き、職員から直接指導を受けると共に、そこで働く職員と利用者を観察して、その実態を理解する。なお、見学後はそこで学んだ内容をレポートにまとめることになる。						
評価方法	最終講義における筆記試験で80%の評価を行う。それ以外は、施設見学後のレポートで20%の評価をする。						
履修条件・注意事項	欠席については特に厳しく管理するので、体調を整えて欠席をしないようにすること。最後には施設見学を行うので、服装や髪型等、社会的マナーを守ること。なお、施設見学前にフィードバックを行い、それまでの学修の習熟度を確認する。						
自己学修	授業毎に、テキストに基づいて講義範囲を指示するので、必ず事前に精読しておくこと。くわえて、講義後もノートなどを通して復習をして、疑問に思う箇所等は次回の講義において質問をすること。予習と復習に90分以上の時間を費やすこと。						
オフィスアワー	火曜日2講目、水曜日1講目6号館3階6307研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1,オリエンテーション		講義	松原
				2,多様なサービス理解		講義	松原
				3,介護職の仕事内容や働く現場の理解		講義	松原
				4,介護におけるコミュニケーションについて		講義	松原
				5,介護におけるコミュにケーションの演習(ロールプレイ)		AL	松原
				6,介護におけるチームのコミュニケーションについて		講義	松原
				7,介護におけるチームコミュニケーションの演習(ロールプレイ)		AL	松原
				8,障害の基礎的理解		講義	松原
				9,障害者家族の心理		講義	松原
				10,障害者に対する関わり支援の理解		講義	松原
				11,就業への備えと継続		講義	松原
				12,施設見学の準備(グループ学修)		講義	松原
				13,高齢者施設見学1回目、施設の理解		AL	松原
				14,高齢者施設見学2回目、利用者の理解、フィードバック		AL	松原
				15,施設見学のまとめ		AL	松原
				16,単位認定試験		筆記試験	松原
教科書							
教・書籍名1	介護職員初任者研修課程テキスト1、2、3				教・出版社名1	日本医療企画	
教・著者名1					教・ISBN1		
教・書籍名2					教・出版社名2		
教・著者名2					教・ISBN2		
参考書							
参・書籍名1					参・出版社名1		
参・著者名1					参・ISBN1		
参・書籍名2					参・出版社名2		
参・著者名2					参・ISBN2		